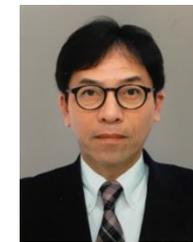


テーマ

豊穰化の経済による地域分析

適用分野

地域・観光マネジメント
地域づくり、地域活性化



研究名称

豊穰化の経済（Enrichment Economy）の分析枠組による地域への価値付与の分析

氏名所属

望月 徹 特任教授
経営学部経営学科

内容

●特徴

古民家再生など古いものに価値を再付与し活性化する「豊穰化の経済」（Boltanski and Esquerre, 2020）の4つの価値づけ形態で地域の特徴を分析する。

●研究内容

近年、地域経済学や経済地理学の分野で「豊穰化の経済」の分析枠組による地域への価値付与研究が注目されている。豊穰化の経済の第1の特徴として富裕者層に向けられている。第2にすでに存在するモノの「豊穰化」に依拠している。過去に準拠した形が基本である。豊穰化され得ないモノは存在しない。

Boltanski and Esquerre (2020) は、豊穰化の経済における「事物の価値の措定」を「言説提示」（presentation）という装置で行い、「形態」という概念で整理する。鍵となるのは言説と時間である。形態は、「言説提示」（「分析的」又は「叙述的」）と、「時間」（「価値の喪失（市場的能力マイナス）」又は「価値の獲得（市場的能力プラス）」）という2つの軸から把握することができる。

こうして、これらの2つの軸の交差から、モノの価値付けに関わる4つの形態ないしは価値付けにおける

フレームが得られる。分析的で市場的能力マイナスの「標準形態」、叙述的で市場的能力マイナスの「トレンド形態」、分析的で市場的能力プラスの「資産形態」、叙述的で市場的能力プラスの「コレクション形態」の4つである。それぞれの形態は、「価格を正当化し、価格形成を促進するとともに、価格に向けられる批判の基盤ともなる」（Boltanski and Esquerre, 2020, p.107）。

	分析的な提示	叙述的提示
市場の力 -	標準形態	トレンド形態
市場の力 +	資産形態	コレクション形態

図 4つの価値形態

現在は、常石ホールディングス（常石HD）の造船からまちづくりへの接近の特性を分析を試みている。常石HDの基幹、造船が標準化形態の特徴を示す一方、まちづくりへの接近は、コレクション形態の特徴を備え、地域内の相互参照の中で尾道に豊穰化をもたらしている。それを常石HDの地域への貢献の精神が媒介する。「豊穰化の経済」の分析枠組による地域特性の考察は、他地域の考察へも応用が可能である。

キーワード

地域への価値付与、地域づくり、地域内の相互参照、豊穰化の経済

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究